

## 霧多布湿原若山沼のトビケラ、 特にエグリトビケラ科とトビケラ科について

野崎 隆夫 (神奈川県公害センター)

伊藤 政和 (釧路市水道部愛国浄水場)

Takao NOZAKI and Masakazu ITOU: Limnephilidae and Phryganeidae (Trichoptera, Insecta)  
of the Kiritappu Moor, Hokkaido, Japan.

**Abstract:** Adults of Limnephilidae and Phryganeidae were collected at the side of Wakayama-numa pond in the Kiritappu moor by M. ITOU on 5th September 1987. Nine species belonging to 4 genera are recorded from this region. *L. quadratus*, *L. sericeus* and *D. umbrina* are newly recorded from Japan.

### はじめに

北海道のトビケラ相に関する報告は、KOBAYASHI (1964)、小林 (1984)、山之内 (1976、1978、1980) などがみられるが、いまだ未知の部分が多い。著者の一人伊藤は、霧多布湿原昆虫調査の一環としてトビケラ成虫を採集する機会を得た。本報では、その際得られたトビケラ成虫のうち比較的大型の種が多いエグリトビケラ科およびトビケラ科についてまとめたので報告する。

### 調査地点および方法

調査を行った若山沼は霧多布湿原の北部に位置し、大きさは長径約330m、短径約120m、周囲約850m、最深部水深2.5mの沼で、底質は腐植泥よりなる (Fig.1)。トビケラ成虫の採集は、1987年9月5日にこの沼の周辺部において、水銀灯 (300w) および蛍光灯 (40w) を使用して夜間灯火採集を行った。採集したトビケラ成虫は、一部を展翅標本とし、残りを75%エタノールで液浸標本とした。種の同定は双眼実体顕微鏡下で行ったが、一部の標本についてはその交尾器を10% KOH 溶液で透化処理し同定に用いた。

### 結果

わずか1日の調査にもかかわらず、エグリトビケラ科2属6種およびトビケラ科2属3種の計9種が確認された。特にエグリトビケラ (キリバネトビケラ) 属 (*Limnephilus*) の種が同時に5種も採集されたことや、日本初記録と思われる種が3種もあったことは特筆される。さらに、*Limnephilus orientalis* を除いた8種は、シベリア、サハリン、千島列島などの国外にも分布することが知られており、生物地理学的にも興味深い。

### 採集記録

この記録の標本は全て伊藤政和が、1987年9月5日に採集したものであるため、データは個体数と性別のみを示した。なお、今回報告した標本は著者らが保管するとともに、一部は釧路市立博物館に所蔵することとした。

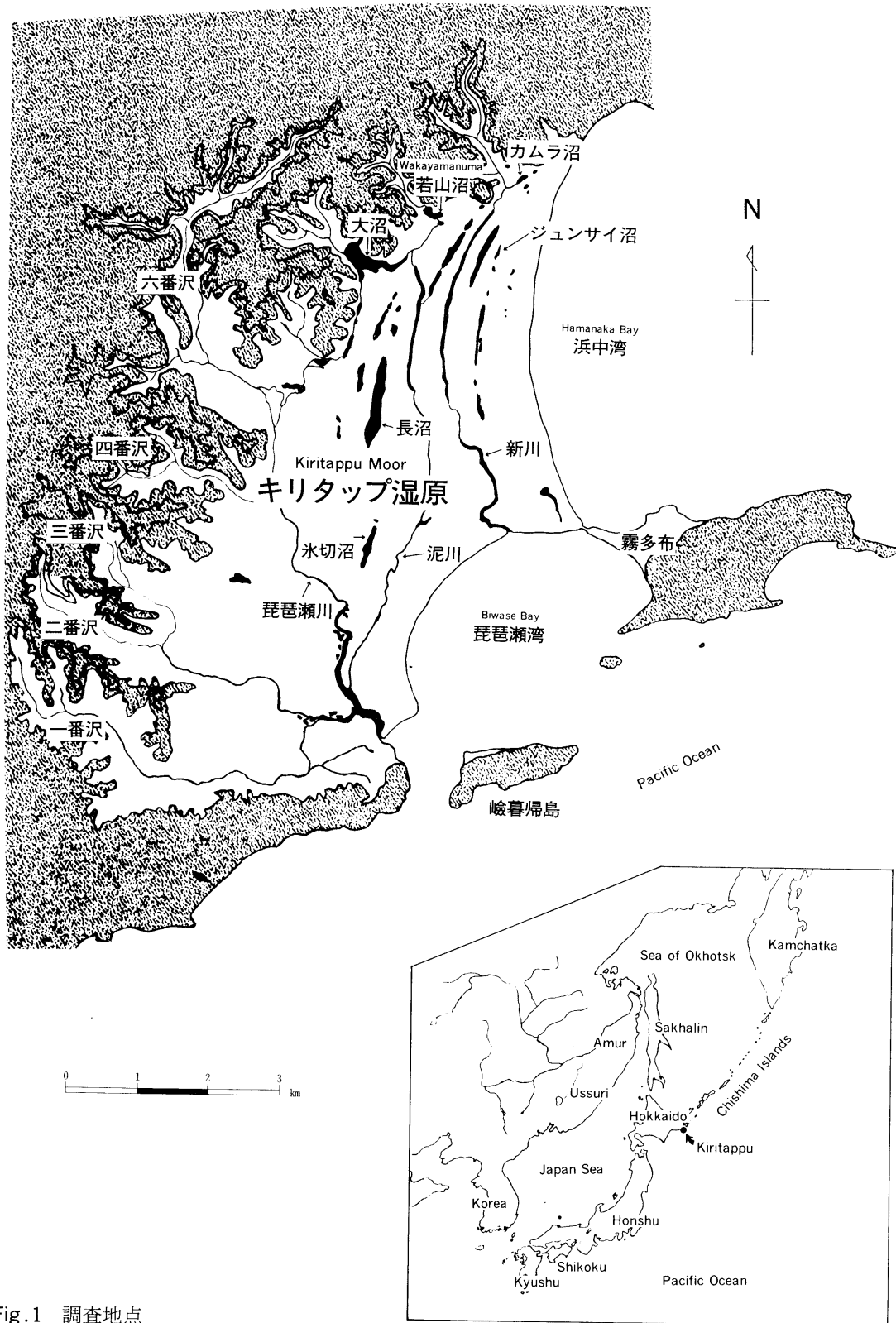


Fig.1 調査地点

## LIMNEPHILIDAE エグリトビケラ科

### 1. *Limnephilus correptus* MC LACHLAN ウスバキトビケラ (Fig.5)

5 ♂ 3 ♀

本種の和名は松村 (1904) によってつけられたが、日本に本種は産しないとの考えからか最近では後述する *L. orientalis* にウスバキトビケラの和名を用いる場合が多い。しかし今回 *L. correptus* と同定される種が出現したので、この報告では本種にウスバキトビケラの和名を用いる。

### 2. *L. orientalis* MARTYNOV トウヨウウスバキトビケラ (新称)

1 ♂

### 3. *L. alienus* MARTYNOV ニセウスバキトビケラ (新称) (Fig.6)

6 ♂ 5 ♀

上記3種については SCHMID (1955) が整理するまで混乱していた。日本におけるこれらの種についての過去の記録は、3種を混同している可能性もあるので再検討が必要と思われる。今回得られた3種の交尾器の図を Fig. 2 に示す。

### 4. *L. quadratus* MARTYNOV コガタウスバキトビケラ (新称) (Fig.7)

3 ♂ 28 ♀

MARTYNOV (1914) がサハリンおよびウスリーから記載した種で、SCHMID (1955) は本種の分布を北欧とシベリアとしている。日本からは初記録と思われるので、今回得られた個体の交尾器の図を Fig. 3 に示す。

### 5. *L. sericeus* SAY (シムシュキリバネトビケラ)

1 ♂

全北区の北部に分布し、TSUDA (1942) が千島列島シムシル島から記載した *L. shimushirensis* はシノニムとされる (SCHMID,1955)。雄1個体しか得られなかったが、日本からは初記録と思われるので、その交尾器の図を Fig. 3 に示す。和名は、津田 (1942) が *L. shimushirensis* に与えたものを一応使用しておく。

### 6. *Nemotaulius miyakei* (NAKAHARA) ミヤケエグリトビケラ (Fig.8)

1 ♂ 2 ♀

南千島、北海道、本州、四国に分布する (桑山、1967)。

## PHRYGANEIDAE トビケラ科

### 7. *Eubasilissa regina* (McLACHLAN) ムラサキトビケラ

2 ♂

中国、インド北部、サハリン、南千島を始め日本全国に分布する (KUWAYAMA、1973)。

### 8. *Dasystegia ulmeri* (MARTYNOV) セジロウンモントビケラ (Fig.9)

4 ♂

南千島、北海道、本州に分布する (KUWAYAMA、1973)。

### 9. *D. umbrina* (MARTYNOV) エゾウンモントビケラ (新称) (Fig.10)

11 ♂ 8 ♀

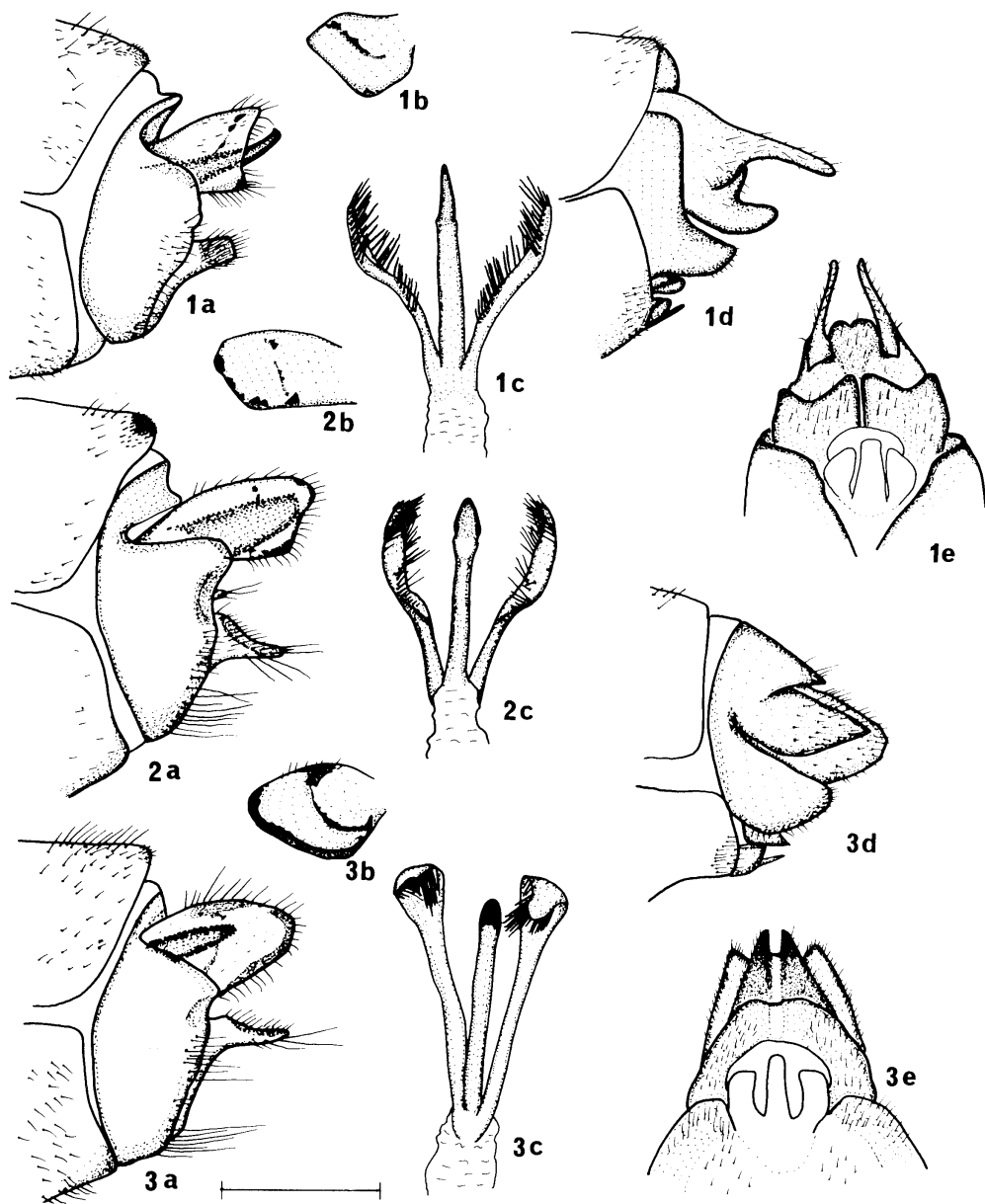


Fig.2 *L. correptus*, *L. orientalis* および *L. alienus* の交尾器(スケールは1mm).

1, *L. correptus* ; 2, *L. orientalis* ; 3, *L. alienus*.

a, ♂側面 ; b, superior appendage 内面 ; c, phallus 背面 ; d, ♀側面 ; e, ♀腹面 .

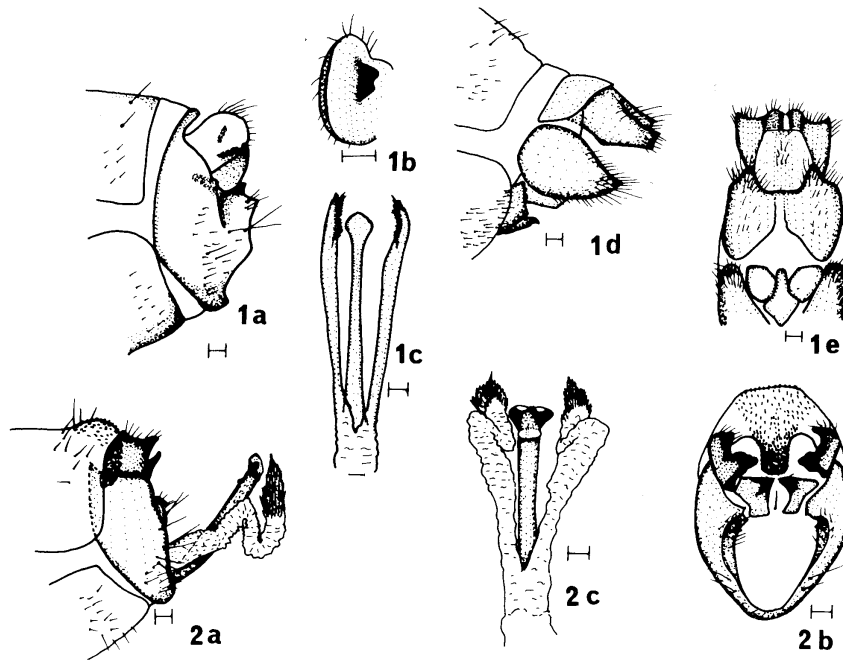


Fig.3 *L. quadratus* および *L. sericeus* の交尾器 (スケールは0.1mm).

1, *L. quadratus* : a, ♂側面; b, superior appendage 内面; c, phallus 背面; d, ♀側面; e, ♀腹面  
 2, *L. sericeus* : a, ♂側面; b, ♂正面; c, phallus 背面.

MARTYNOV (1924) が南ウスリーより記載した種で、日本初記録と思われる。採集された個体の交尾器の図を Fig. 4 に示す。

#### 謝 辞

霧多布湿原内の調査に際して、文化庁の許可 (委保第4の452号) を得た。トビケラ類の採集に同行し協力して下さった、釧路昆虫同好会会員に心から深謝する。

#### 引用文献

- KOBAYASHI, M(1964) Notes on the caddisflies of Hokkaido, with description of two new species (Insecta, Trichoptera). Bull. Nat. Mus. (Tokyo), 7 : 83-90.
- 小林峯生 (1984) 北海道南部渡島半島の毛翅目について. 神奈川県立博物館研究報告自然科学、14 : 45-78.
- 桑山 覚 (1967) 毛翅目. 南千島昆虫誌、66-69. 北農会.
- KUWAYAMA, S. (1973) An enumeration of the family Phryganeidae from Japan and its adjacent territories ( Trichoptera ) . Kontyu, 41 : 35-43.
- MARTYNOV, A. V. (1914) Trichoptères de la Sibérie et des régions adjacentes IV. Subf. Limnophilinae. Ann. Mus. Zool. Ac. Sci. St. Pétersb., 19 : 173-285.
- (1924) Preliminary revision of the family Phryganeidae, its classification and evolution. Ann. Mag. Nat. Hist., ser. 9, 14 : 209-224.

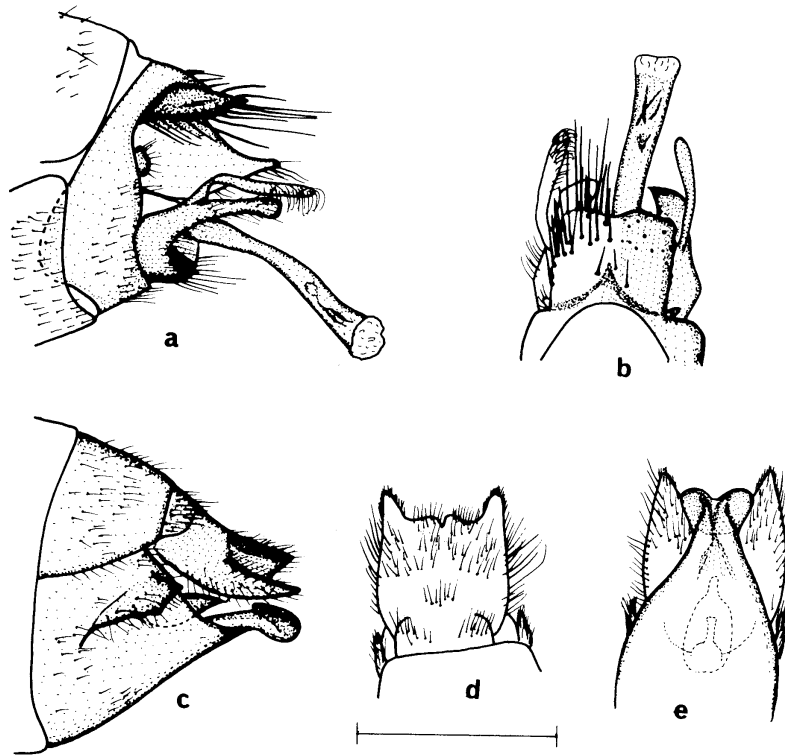


Fig.4 *D. umbrina* の交尾器 (スケールは 1 mm)  
 a, ♂側面; b, ♂背面; c, ♀側面; e, ♀腹面.

松村松年 (1904) 日本千虫図解.

SCHMID, F. (1955) Contribution à l'étude des Limnophilidae (Trichoptera). Mitt. Schweiz. Ent. Ges., 28: 1-245.

TSUDA, M. (1942) Japanische Trichopteren I. Systematik. Mem. Coll. Sci. Kyoto Imp. Univ. (B), 17: 239-339.

津田松苗 (1942) 日本産毛翅目の学名和名一覧. 植物及動物, 10: 653-659.

山之内統 (1976) 糠平とその周辺のトビケラ相 (第1報). 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, 2: 3-6.

—— (1976) 同前 (第2報). 同上, 4: 9-10.

—— (1980) 同前 (第3報). 同上, 5: 7-9.

(野崎隆夫: 〒251 藤沢市辻堂東海岸4-10-123; 伊藤政和: 〒085 釧路市武佐2-6-1)

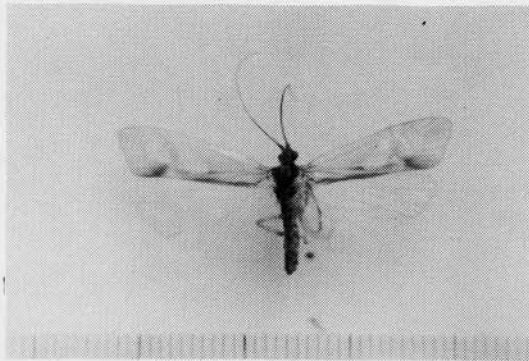


Fig.5. *Limnephilus correptus* MC LAHLAN  
ウスバキトビケラ

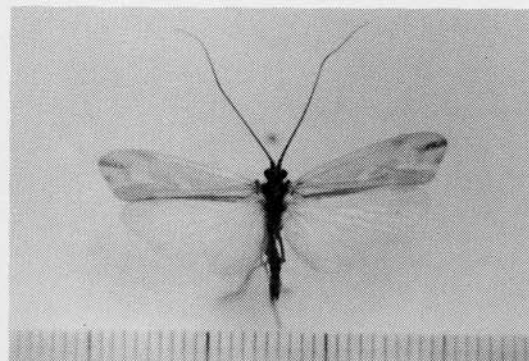


Fig.6. *Limnephilus alienus* MARTYNOV  
ニセウスバキトビケラ

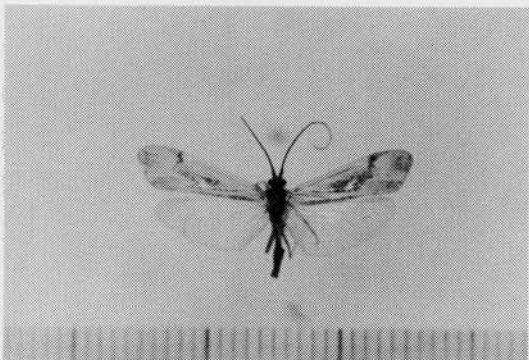


Fig.7. *Limnephilus quadratus* MARTYNOV  
コガタウスバキトビケラ

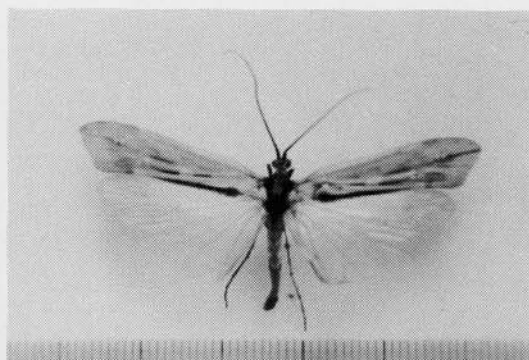


Fig.8. *Nemotaulius miyakei* (NAKAHARA)  
ミヤケエグリトビケラ

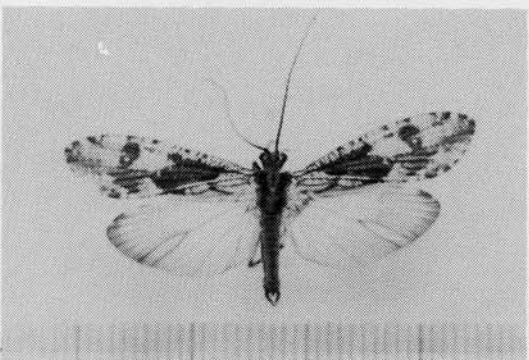


Fig.9. *Dasystegia ulmeri* (MARTYNOV)  
セジロウンモントビケラ

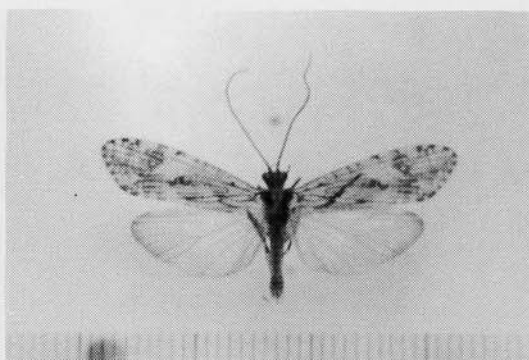


Fig.10. *Dasystegia umbrina* (MARTYNOV)  
エゾウンモントビケラ